

化学工学会 第 56 回秋季大会
ST-21 [部会横断型シンポジウム]
＜データ駆動型研究開発の最先端＞
報告書

オーガナイザー

嶋田 五百里(信州大学)
金 尚弘(東京農工大学)
戸谷 吉博(大阪大学)
吉田 英昭(住友化学(株))
向田 志保(三井化学(株))
室賀 駿(産業技術総合研究所)
杉澤 宏樹(三菱ケミカル(株))
夏 俊卿(福岡大学)
菅原 勇貴(東京科学大学)(文責)

2025 年 9 月 16～18 日に芝浦工業大学で開催された化学工学会第 56 回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計 18 件の講演発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9 月 16 日 9:20～16:20 11 件(招待講演 5 件を含む) 9 月 17 日 9:00～12:00 7 件(講演キャンセル 1 件を除く)
会場	芝浦工業大学 豊洲キャンパス
聴講者数	約 90 名
招待講演	『データサイクルの加速に基づくデータ駆動材料研究の実践』 (科学大) 安藤 康伸 『ハイスループット実験による触媒開発の迅速化』 (産総研) 藤谷 忠博 『データ科学が拓く物質の高精度計測と設計』 (東大) 溝口 照康 『ビジネスおよび情報システムにおける最適化問題』 (日鉄ソリューションズ) 南 悦郎 『データ駆動型研究開発を支えるバイオ実験自動化の課題と展望』 (理研) 堀之内 貴明

以上